

管路施設と処理場等施設の違い

項目		管路施設	処理場等施設
施設の特徴	施設の分布	面的（基本的に個々に管理は困難）	点的（基本的に個々に管理が可能）
	劣化の要因	下水道以外の影響多い	下水道以外の影響少ない
	機能停止時の影響	管路システムの全体に影響が及ぶ場合は少ない	処理システムの全体に影響が及ぶ
ストックマネジメントの考え方	健全度予測	・ 1 スパンごとの健全度予測は困難 ・ 健全率予測を行う。	・ 状態監視保全 ：機能を考慮して分類した単位で健全度予測 ・ 時間計画保全・事後保全 ：健全度予測しない（耐用年数設定）
	投資計画の検討における特徴	・ 施設全体で投資パターンを決める ・ 系統のつながりは考慮せず	・ 設備毎に投資パターンを決めて積み上げ ・ 系列のつながりや機能を考慮 ・ 土木施設と設備で改築時期を調整
	調査計画の主な目的	改築必要箇所の抽出	健全度予測式の検討（対策時期の精査）
	重要度の活用	調査計画における優先順位（投資計画では考慮せず）	・ 管理方法の分類 ・ 投資計画における優先順位 ・ 調査計画における調査時期
	短期の事業計画（長寿命化計画等）	対策の検討（更新／長寿命化／修繕）	対策の内容を確認